



令和元年9月18日  
内閣府（防災担当）

## 令和元年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。  
なお、表彰式の日時等については、別途お知らせいたします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

### 【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 難波、上田、山尾

電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

## 令和元年 防災功労者 内閣総理大臣表彰 受賞者名簿

### ○ 個人

#### 〔防災体制の整備〕

名古屋大学減災連携研究センター長・教授

福 和 伸 夫 (愛知県)

茨城県保健福祉部技監兼茨城県竜ヶ崎保健所長

明 石 眞 言 (東京都)

東京大学名誉教授

鈴 木 雅 一 (京都府)

関東学院大学名誉教授

宮 村 忠 (東京都)

#### 〔防災思想の普及〕

(株)東北通信メンテナンス

鈴 木 隆 三 (福島県)

### ○ 団体

#### 〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成30年7月豪雨)

高浜地区自主防災連合会 (愛媛県)

広島県警察本部 (広島県)

岡山県警察本部 (岡山県)

愛媛県警察本部 (愛媛県)

関市消防団 (岐阜県)

下呂市消防団 (岐阜県)

綾部市消防団 (京都府)

岡山市消防団 (岡山県)

総社市消防団 (岡山県)

高梁市消防団 (岡山県)

赤磐市消防団 (岡山県)

浅口市消防団 (岡山県)

矢掛町消防団 (岡山県)

鏡野町消防団	(岡山県)
美咲町消防団	(岡山県)
広島市中消防団	(広島県)
広島市東消防団	(広島県)
広島市南消防団	(広島県)
広島市西消防団	(広島県)
広島市安佐南消防団	(広島県)
広島市安佐北消防団	(広島県)
広島市安芸消防団	(広島県)
広島市佐伯消防団	(広島県)
呉市消防団	(広島県)
竹原市消防団	(広島県)
三原市消防団	(広島県)
尾道市消防団	(広島県)
福山市消防団	(広島県)
府中市消防団	(広島県)
三次市消防団	(広島県)
庄原市消防団	(広島県)
大竹市消防団	(広島県)
東広島市消防団	(広島県)
廿日市市消防団	(広島県)
安芸高田市消防団	(広島県)
江田島市消防団	(広島県)
府中町消防団	(広島県)
海田町消防団	(広島県)
熊野町消防団	(広島県)
坂町消防団	(広島県)
安芸太田町消防団	(広島県)
北広島町消防団	(広島県)
大崎上島町消防団	(広島県)
世羅町消防団	(広島県)
周南市消防団	(山口県)
松山市消防団	(愛媛県)
宇和島市消防団	(愛媛県)

大洲市消防団	(愛媛県)
西予市消防団	(愛媛県)
福知山市消防団	(京都府)
舞鶴市消防団長連絡協議会	(京都府)
美作市消防団	(岡山県)
郡上市消防団	(岐阜県)
岐阜市水防協会	(岐阜県)
亀岡市消防団	(京都府)
鳥取市消防団	(鳥取県)
飛驒市消防団	(岐阜県)
内子町消防団	(愛媛県)
中部方面隊災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊 (平成30年 北海道胆振東部地震)	(兵庫県)
北海道警察本部	(北海道)
胆振東部消防組合厚真消防団	(北海道)
胆振東部消防組合鷗川消防団	(北海道)
胆振東部消防組合穂別消防団	(北海道)
国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊	(茨城県)
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所緊急災害対策派遣隊	(神奈川県)
第7師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊 (平成30年7月豪雨及び平成30年北海道胆振東部地震)	(北海道)
国土交通省緊急災害対策派遣隊	(東京都)
国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊	(茨城県)

#### 〔防災体制の整備〕

登別市連合町内会	(北海道)
本町下丁町内会自主防災組織	(秋田県)
流山市東部地区自治会連合協議会	(千葉県)
鳥取市若葉台南六丁目自主防災会	(鳥取県)
宮城野区福住町町内会	(宮城県)
根新田町内会	(茨城県)
Seya 防災ネットワーク	(神奈川県)
阿南市立津乃峰小学校	(徳島県)

久万高原町幼少年女性防火委員会	(愛媛県)
北九州市若松消防団 女性消防団員「カップ・ファイヤーズ」	(福岡県)
西崎ニュータウン自治会自主防災会	(沖縄県)
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島研究開発拠点 福島環境安全センター	(福島県)
那智勝浦町教育委員会	(和歌山県)

**〔防災思想の普及〕**

植村建設株式会社	(北海道)
災害救援ボランティア推進委員会千葉市SLネットワーク	(千葉県)
みやま市女性防火倶楽部	(福岡県)

以上、89件(5個人、84団体)

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府 ・ 文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	ふくわ のぶお 福和 伸夫
住 所	愛知県日進市
職 業	名古屋大学減災連携研究センター長・教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、地震工学を専門とし、建築物の耐震安全性向上に寄与した研究成果で日本建築学会賞など多数の学術賞を受賞しており、日本地震工学会長も務めた。また、南海トラフ地震を始め、国が進める地震対策に深く関わり、中央防災会議の多くの専門調査会や作業部会、検討会に加わり、国民運動作りや臨時情報発表時の対応検討に主導的に関わった。特に、南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループでは、主査として臨時情報発表時の対応検討に関わった。また、地震調査研究推進本部や、総合科学技術会議、文部科学省、国土交通省、気象庁、消防庁などが進める防災検討にも主体的に取り組んでいる。さらに、府県・市町の防災対策にも大きく貢献してきた。</p> <p>また、氏が開発した振動教材「ぶるる」は、中央防災会議本会議においても実演され、災害被害を軽減する国民運動、TEAM防災ジャパン、防災推進国民大会などでも主要な役割を果たしている。平成19年にはこれらの活動に対し、科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（理解増進部門）を授与され、平成26年には防災功労者防災担当大臣表彰を受賞している。</p> <p>これに加え、防災対策を実効的にするため、産官学民連携の場として、あいち防災協働社会推進協議会、西三河防災減災連携研究会、愛知建築地震災害軽減システム研究協議会などの立ち上げ、名古屋大学減災連携研究センターやあいち・なごや強靱化共創センターの設立、啓発・対応・研究拠点の名古屋大学減災館の開設なども主導した。</p> <p>このように、氏は、研究・施策・実践を三位一体で進め、防災・減災に寄与した。</p>

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	あかし まこと 明石 眞言
住 所	千葉県習志野市
職 業	茨城県保健福祉部技監兼茨城県竜ヶ崎保健所長
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成11年に茨城県東海村で発生したウラン加工施設における臨界事故（JCO事故）において、被ばくした患者の受入れ、線量評価、治療方針の決定と治療を先導した。また、平成23年に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電事故では直ちに専門家チームを現地に派遣するとともに、事故により被ばくした患者の受入れ・線量評価・治療の陣頭指揮を執った。さらに、平成29年に茨城県大洗町で発生した高速炉燃料研究開発施設における放射性物質の吸入事故において、我が国で初めての経験となったプルトニウムによる内部被ばくを受けた患者の治療及び線量評価を率先して対応するなど、被ばく医療の第一人者として重要な役割を果たした。上記以外にも国内外で発生した数多くの被ばく事故に対応してきた。</p> <p>また、原子力防災行政においても、国・自治体における各種委員会の委員を歴任し、これまで培ってきた経験や知見を活かし、数多くの有用な提言を行うなど、我が国の被ばく医療体制の構築に尽力した。</p> <p>さらに、我が国の原子力災害医療体制の中核機関であり、基幹高度被ばく医療支援センターに指定されている量子科学技術研究開発機構において体内除染剤の備蓄、測定器・医療機器の点検を含む被ばく医療施設の維持・管理、事故・災害現場等への派遣を想定した被ばく医療の専門家等からなる派遣チームの発足、国や自治体が主催する原子力防災訓練等への参加、大学や外部高度専門医療機関とのネットワークの構築に努め常に受入可能な体制を維持するとともに、消防、救急、警察、自衛隊、海上保安庁、地方自治体関係者及び医療従事者等の人材育成にも力を注ぎ、万が一の事故に備え平常時から原子力災害医療体制の実効性を高め続けてきた。</p> <p>このように、原子力・放射線事故における医療活動の貢献は誠に顕著であり、被ばく医療体制の確立など、原子力防災体制の整備への貢献度も絶大である。</p>

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	すずき まさかず 鈴木 雅一
住 所	京都府京都市
職 業	国立大学法人東京大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、砂防学及び森林水文学に多数の研究業績を上げてこられた。特に、土砂災害発生に関する降雨指標の研究の草分け的な存在であり、タンクモデル、実効雨量を用いた土砂災害発生の危険雨量や、がけ崩れ発生と降雨の関係に関する研究成果は、土砂災害警戒避難の指標検討に活用され、発表後30年以上経過した現在でも多くの研究論文に引用されている。</p> <p>また、国土交通省が設置した「土砂災害対策懇談会」や「河川砂防技術基準検討委員会」の委員を務められたほか、平成25年10月に伊豆大島で発生した土砂災害では、東京都が設置した「伊豆大島土砂災害対策検討委員会」や「伊豆大島火山砂防基本計画検討委員会」の委員長を務められ、多くの技術的な助言やとりまとめを行った。</p> <p>学術関係では、砂防学会会長等の要職を歴任され、「深層崩壊」を初めて定義し、その対応策等について砂防学会として提言を行うなど、その評価は極めて高い。</p> <p>このように、同氏は砂防に関する学術研究に献身するとともに、その成果を踏まえ砂防行政へ有用な提言を行うなど、防災体制の整備に多大な貢献をしてきた。</p>



功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	みやむら ただし 宮村 忠
住 所	東京都江東区
職 業	関東学院大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>平成4年から平成29年までの26年間、通算18回にわたり、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県にて開催された利根川水系連合・総合水防演習において、解説者として河川、流域の特性や水害の歴史及び水防工法の解説を行うとともに、住民を対象とした防災講演会において、水防の重要性を含む地域防災の意識の浸透に資する講演を行い、水防技術の向上、伝承、普及に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	すずき りゅうぞう 鈴木 隆三
住 所	福島県福島市
職 業	株式会社東北通信メンテナンス
功 績 の 概 要	<p>平成7年以降、水防工法指導員として、また、平成27年以降は水防専門家として、23年間にわたり、福島県を中心に毎年実施される阿賀川の水防演習、福島県水防訓練において水防工法の指導を行うとともに、水防団に対し水防工法の指導を行っている。これまで指導を行った団体は延べ150団体を数え、水防技術の向上、伝承、普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	たかはまちくじしゅぼうさいれんごうかい 高浜地区自主防災連合会
所 在 地	愛媛県松山市
代 表 者 (団体での職名)	かげはら まさのり 蔭原 政徳
功 績 の 概 要	<p>高浜地区自主防災連合会は、平成30年7月豪雨の際、同会が作成した防災マップをもとに危険箇所の見回りを行い、土砂災害の危険が迫る住民に戸別訪問し避難を促した。また、町内放送を利用し、行政が避難勧告を発令する以前に、早め早めの避難を住民に促した結果、大規模な土砂災害でも1人の犠牲者も出さなかった。さらに、独自で公民館分館や漁協施設に自主避難所を開設し、避難者を受け入れる体制を整え、避難勧告発令後も関係者と協力し、適切な避難所運営を行った。</p> <p>また、被害状況を把握するため、ドローンで空撮を依頼し、地上からは把握できない被害状況を撮影することで、災害復旧・復興に役立てる独自の取組を行った。</p> <p>同会は、毎年小中学校を会場に、小中学生・行政・大学・企業等多くの関係機関が参加する1,000人規模の防災訓練を開催しており、定期的な出前講座や防災士勉強会も合わせて、同会と地域の関係団体が顔の見える関係を築いていたことが、7月豪雨災害で地域が一体となった活動につながり、住民の力で住民の命を守った。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	ひろしまけんけいさつほんぶ 広島県警察本部
所 在 地	広島県広島市中区
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>すずき のぶひろ</small> 鈴木 信弘
功 績 の 概 要	<p>広島県警察は、西日本を中心に記録的な豪雨となった平成30年7月豪雨災害の発生に際し、本部長を長とする災害警備対策本部（本部長以下約5,000人体制）を設置し、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動等に当たった。特に被害が甚大であった広島市安芸区、熊野町、坂町、呉市等には警備部隊等を派遣するとともに、指揮支援班において自治体・自衛隊・消防等の関係機関との情報共有や任務分担を行い、効果的な捜索・救出活動等を実施するなど、水没家屋等から約110人を救助し、人的被害の拡大を防止した。</p> <p>また女性警察官を中心に編成した「(通称)メイプル隊」により、避難所において被災者への声掛けや防犯指導、相談対応等を実施するとともに、「特別自動車警ら部隊」、「特別機動捜査部隊」、防犯カメラの設置等による被災地周辺での警戒活動を実施したほか、チラシ、県警ホームページ等の広報媒体を活用して災害便乗犯罪、デマ情報への注意を喚起し、防犯対策を行う等、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	おかやまけんけいさつほんぶ 岡山県警察本部
所 在 地	岡山県岡山市北区
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>きはら こうき</small> 桐原 弘毅
功 績 の 概 要	<p>岡山県警察は、西日本を中心に記録的な豪雨となった平成30年7月豪雨災害の発生に際し、本部長を長とする災害警備本部（本部長以下約1,700人体制）を設置し、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動等に当たった。また河川の決壊により総面積の約27%（約1,200ヘクタール）が水没した倉敷市真備町においては、現地調整本部において自衛隊・消防等の関係機関と任務分担・情報共有を行い、さらには警察へりを効率的に活用するなど、迅速かつ的確に部隊を投入することにより、孤立状態となった約280人を救助し、人的被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、女性警察官を中心に編成した特別生活安全部隊等により、避難所において被災者への声掛け、防犯指導、相談対応等を実施するとともに、地域部及び刑事部隊員等で編成した警戒警ら部隊による流動警戒及び犯罪抑止活動、交通部隊による交通渋滞緩和のための交通整理及び広報活動等、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	えひめけんけいさつほんぶ 愛媛県警察本部
所 在 地	愛媛県松山市
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>まつした</small> <small>ひとし</small> 松下 整
功 績 の 概 要	<p>愛媛県警察は、西日本を中心に記録的な豪雨となった平成30年7月豪雨災害の発生に際し、本部長を長とする非常災害対策本部（本部長以下約800人体制）を設置し、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の搜索活動等に当たった。また市街地の大半が水没した大洲市では、機動隊員及び大洲署員が家屋や店舗に取り残された住民約120人を救助用ボート等で救助し、人的被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、女性警察官らによる避難所支援班を編成して避難所を巡回し、避難者からの相談に応じるとともに、犯罪抑止、住民の不安感の解消を図るため、生活安全部（地域課自動車警ら隊等）及び交通部による警戒部隊を編成し、24時間体制でパトカー等による警ら、駐留警戒等の防犯活動を実施したほか、発生直後から県警ホームページに災害関連情報のバナーを立ち上げるとともに、SNS（ツイッター、フェイスブック）等においても、防犯対策、交通規制状況、警察署被災に伴う各種警察手続きの場所変更等、県民の安全安心に繋がる各種情報発信を行う等、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	せきししょうぼうだん 関 市 消 防 団
所 在 地	岐阜県関市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ただ</small> 多田 <small>としお</small> 壽夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月4日から8日にかけて岐阜県関市を襲った平成30年7月豪雨に際し、7月5日から16日にわたり、延べ1,686人にわたる団員が、河川の巡視や積み土のう等の水防活動や、1,000人以上の住民の避難誘導を行った他、豪雨により濁流に飲み込まれた家屋の住民7名を救出するなど、被害拡大の防止に多大な貢献をした。</p> <p>また降雨後には、ドローンによる被害状況空撮を行った上で効率的に土砂撤去作業や道路清掃を実施するなど迅速な復旧に努めたほか、地域のニーズを聞き出し、災害ボランティアの運営を円滑化するなど、災害復旧期における功績も顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	げろし しょうぼうだん 下 呂 市 消 防 団
所 在 地	岐阜県下呂市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>むささき さとし</small> 無 笹 聡
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年6月29日に岐阜県を襲った7月豪雨の際、5日間にわたり、延べ1,757名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、河川の氾濫を防ぐための積み土のうやポンプによる排水活動により浸水等による被害を未然に防いだ。</p> <p>またこの他、山腹崩落やダム放流により危険となった住民の避難誘導を行い、1人として人的被害を出さなかった等、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	あ や べ し し ょ う ぼ う だ ん 綾 部 市 消 防 団
所 在 地	京 都 府 綾 部 市
代 表 者 (団体での職名)	団 長 <small>しらはせ ひろゆき</small> 白波瀬 博之
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、発災時から管轄の分団が現地を確認するなどの活動を行い、更には瓦礫、土砂、木材などの除去作業を実施。以降、平成30年7月8日午前7時頃まで、消防団員延べ319人で約27時間の活動を、交代制で継続した。</p> <p>消防団活動終了までに2名の要救助者を発見しており、消防団活動は要救助者の早期救出に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	おかやまししょうぼうだん 岡 山 市 消 防 団
所 在 地	岡山県岡山市北区
代 表 者 (団体での職名)	団長 やすとみ まさし 安富 正史
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨は、6月28日から7月8日にかけて西日本を中心とし広い範囲で集中して豪雨を記録し、河川の氾濫、堤防の決壊等により、岡山市内で7,725棟の建物被害、113棟の非住家被害、603事業所の罹災事業所が発生する大災害となった。</p> <p>同消防団は、この未曾有の災害に際し、7月5日から避難広報及び警戒巡視等の活動を開始し、延べ5,038人の人員と422台の車両を動員し対応した。警戒、土のう設置、排水作業、避難誘導及び救助活動等の活動を展開し、被害の軽減に多大な貢献をした。活動する消防団員の中には、自らの住家が被害に遭うも、市民の安心安全のため活動を継続した者もあり、これら岡山市消防団の活動は市民から賞賛された。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	そうじゃししょうぼうだん 総 社 市 消 防 団
所 在 地	岡山県総社市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>あらき つよし</small> 荒木 毅
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、避難広報及び誘導、水防活動、警戒活動、土砂対応、行方不明者捜索、安否確認を実施し、特に行方不明者捜索においては3名の住民を発見する等、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p> <p>その後も復旧活動として、支援物資搬送及び仕分け作業、災害ごみの収集や仕分け作業、家屋からの家財搬出、ボランティア受付等に従事したが、今回は水害だけではなく災害とまでに認識された猛暑の中、58日間にわたり、延べ2,191名の消防団員が、分団の管轄を越え、さらには消防団の活動の枠を越え、一丸となって発災初期から復旧支援に至るまで様々な活動を行った功績は非常に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	たかはししょうぼうだん 高 梁 市 消 防 団
所 在 地	岡山県高梁市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>にし ゆうすけ</small> 西 右介
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月5日から平成30年7月7日に発生した平成30年7月豪雨に際し、谷川の越水に対応するための土のう積みや排水作業等の水防活動を不眠不休で行ったほか、高齢者世帯などの安否確認や孤立住民の避難誘導、逃げ遅れた要救助者の救出を消防本部や自衛隊と合同で行うなど、自らの命の危険を顧みず果敢に対応にあたり、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	あかいわししょうぼうだん 赤 磐 市 消 防 団
所 在 地	岡山県赤磐市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>なかた こうじ</small> 中田 浩二
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨災害において、4日間に渡り住民への避難誘導を行ったほか、積み土嚢による河川の氾濫や家屋への水の流入を防ぐなど、赤磐市内の被害の軽減に努めた。早期判断により、いち早く赤磐市民を避難所へ誘導したことから二次災害等もなく、また孤立する市民もいなかったなど、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	あさくちししょうぼうだん 浅 口 市 消 防 団
所 在 地	岡山県浅口市
代 表 者 (団体での職名)	団長 いしい しゅうへい 石井 修平
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、市内各地で同時多発的に土砂災害や浸水被害が発生する困難な状況の中、ポンプによる排水作業、土嚢積みによる水防活動や避難広報活動を行った。また鴨方町北平地区においては、上流の土砂崩れにより大量の土砂を含んだ水が流出し続ける中、住家へ流れ込まないように土嚢で制御した上で、堆積し続ける土砂を人力により2日間排除し続ける等、懸命な活動により被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	やかげちょうしょうぼうだん 矢掛町消防団
所 在 地	岡山県小田郡矢掛町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ふじなが</small> 藤永 <small>てつお</small> 哲雄
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、地元住民への広報活動、要支援者の避難誘導及び孤立住民の救出活動を行い、町民の迅速かつ安全な避難に寄与したほか、小田川堤防決壊を第一に発見するなど、災害対策本部における情報収集業務においても多大な貢献をし、結果として町内において1人も死者・行方不明者を出すことがなかった功績は誠に顕著である。</p> <p>また、災害復興期においては本来の業務範囲を超え、道路啓開及び個人宅に堆積した土砂や災害ごみの撤去に尽力し、地元住民からも感謝の声が多く寄せられている。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	かがみのちょうしょうぼうだん 鏡 野 町 消 防 団
所 在 地	岡山県苫田郡鏡野町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>あかさか</small> 赤坂 <small>よしかず</small> 佳計
功 績 の 概 要	<p>同消防団は平成30年7月に西日本を襲った豪雨に際し、3日間にわたり降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり積み土嚢等の水防活動を行うとともに、護岸決壊の危険があった古川地区及び土砂崩れの危険があった至孝農地区の住民計174名の避難誘導を行った。また、前記に加え、3日間にわたり行方不明者の捜索を行う等、延1,332名が対応にあたり、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みさきちょうしょうぼうだん 美 咲 町 消 防 団
所 在 地	岡山県久米郡美咲町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ひらた よしひさ</small> 平田 佳久
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月に発生した豪雨災害に際し、水害による住家等の被害をくいとめるための水防活動を行ったほか、河川の氾濫の危険があった中央地区46名、土砂崩れの危険があった旭地区119名、河川の氾濫・ため池の決壊の危険のあった柵原地区147名の住民を避難誘導を行い、被害の拡大防止に多大な貢献をした。更には増水した河川で発生した近隣町の行方不明者の捜索活動を行うなど、精力的に活動した功績は顕著である。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひろしましなかしょうぼうだん 広島市中消防団
所 在 地	広島県広島市中区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>くろかわ あきお</small> 黒川 明夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、広島市内で特に被害の大きかった安芸消防団からの応援要請を受け、市内の各消防団と一致団結して、気温30度以上となる過酷な状況の中、災害発生から7月28日までの長期にわたり、延べ358名の男性消防団員が、避難誘導をはじめ、人命救助や捜索活動等を行うとともに、広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡海田町、熊野町及び坂町においても人命救助や捜索活動等を行った。</p> <p>また、女性消防団員は、安芸区内の避難所及び広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡坂町の避難所において、7月13日から9月17日までの長期にわたり、延べ19名が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひろしましひがししょうぼうだん 広島市東消防団
所 在 地	広島県広島市東区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>やまさき</small> 山崎 <small>ゆきお</small> 幸夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、道路冠水や濁流が発生し、また気温30度以上となる過酷な状況の中、災害発生から7月27日までの長期にわたり、延べ699名の男性消防団員が懸命に人命救助活動を行うとともに、道路啓開や積み土のう工法等を実施し、避難勧告が継続して発令されていた管内の夜間警戒巡視を継続的に行った。</p> <p>また、女性消防団員は、管内の避難所において衛生環境の確認及び避難者の要望等の聞き取りを行ったほか、広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡坂町の避難所において、7月6日から9月30日までの長期にわたり、延べ64名が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひろしましみなみしょうぼうだん 広島市南消防団
所 在 地	広島県広島市南区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>たなか ひろあき</small> 田中 博昭
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、道路冠水や濁流が発生し、また気温30度以上となる過酷な状況の中、災害発生から7月27日までの長期にわたり、延べ711名の消防団員が、懸命に人命救助活動を行うとともに、道路啓開や土砂撤去、積み土のう工法等を実施し、管内における夜間警戒巡視を継続的に行った。</p> <p>また、女性消防団員は、自主防災組織と連携して7月13日から7月24日までの間、管内の避難所において、延べ14名が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひろしましにししょうぼうだん 広島市西消防団
所 在 地	広島県広島市西区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>さなだ こうじ</small> 真田 耕治
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、広島市内で特に被害の大きかった安芸消防団からの応援要請を受け、市内の各消防団と一致団結して、気温30度以上となる過酷な状況の中、災害発生から7月26日までの長期にわたり、延べ278名の男性消防団員が広島市内の災害現場において、避難誘導をはじめ人命救助や捜索活動等を行うとともに、広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡海田町、熊野町及び坂町においても人命救助や捜索活動等を行った。</p> <p>また、女性消防団員は、安芸区内の避難所及び広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡坂町の避難所において、7月12日から9月29日までの長期にわたり、延べ130名が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひろしまし あさみなみ しょうぼうだん 広島市安佐南消防団
所 在 地	広島県広島市安佐南区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>いたもと</small> 板本 <small>ただあき</small> 忠明
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、広島市内で特に被害の大きかった安芸消防団からの応援要請を受け、市内の各消防団と一致団結して、また気温30度以上となる過酷な状況の中、災害発生から7月27日までの長期にわたり、延べ923名の男性消防団員が広島市内の災害現場において、避難誘導をはじめ、人命救助や捜索活動等を行うとともに、広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡海田町、熊野町及び坂町においても人命救助や捜索活動等を行った。</p> <p>また、女性消防団員は、安芸区内の避難所及び広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡坂町の避難所において、7月12日から9月29日までの長期にわたり、延べ69名が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ひろしまし あさきた しょうぼうだん 広島市安佐北消防団
所 在 地	広島県広島市安佐北区
代 表 者 (団体での職名)	団長 おだ しげお 小田 重男
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、道路冠水や濁流が発生し、また気温30度以上となる過酷な状況の中、一致協力してボートを活用した救助活動を行うとともに、生き埋めとなった人の救助にあたったほか、災害発生から7月26日までの長期にわたり、延べ1,694名の男性消防団員が、懸命に人命救助活動を行うとともに、道路啓開や積み土のう工法等を実施し、管内における夜間警戒巡視を継続的に行った。</p> <p>また、女性消防団員は、7月13日から9月30日までの長期にわたり、管内の避難所及び広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡坂町での避難所において、延べ24名が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ひろしまし あき しょうぼうだん 広島市安芸消防団
所 在 地	広島県安芸郡海田町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>こだかり おさむ</small> 小鷹狩 修
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、道路冠水や濁流が発生し、また気温30度以上となる過酷な状況の中、市内の各消防団と一致団結して、気温30度以上となる過酷な状況の中、災害発生から8月13日までの長期にわたり、延べ1,774名の男性消防団員が広島市内の災害現場において、避難誘導をはじめ、河川からの浸水を排水するための土のう積みによる水路作成、濁流と化した道路へロープ展張し冠水により避難できていなかった住民の救出、生き埋めとなった人の救助や捜索活動等を行うとともに、避難勧告が継続して発令されていた管内の夜間警戒巡視を行った。</p> <p>一方女性消防団員は、市内の各消防団と一致団結して、管内の避難所において、7月13日から11月1日までの長期にわたり、延べ197名の女性消防団員が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>



## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひろしまし さえき しょうぼうだん 広島市佐伯消防団
所 在 地	広島県広島市佐伯区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ふじもと</small> 藤本 <small>かつひろ</small> 克裕
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、広島市内で特に被害の大きかった安芸消防団からの応援要請を受け、市内の各消防団と一致団結して、気温30度以上となる過酷な状況の中、災害発生から7月28日までの長期にわたり、延べ598名の男性消防団員が広島市内の災害現場において、避難誘導をはじめ、人命救助や捜索活動等を行うとともに、広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡海田町、熊野町及び坂町においても人命救助や捜索活動等を行った。</p> <p>また、女性消防団員は、安芸区内の避難所及び広島県内広域消防相互応援協定に基づく応援要請により広島市が消防事務を受託する安芸郡坂町の避難所において、7月14日から9月29日までの長期にわたり、延べ80名が、避難所の清掃や消毒をはじめ、支援物資の整理や段ボールベッドの組み立て、清潔な寝具を提供するために洗濯などを行うとともに、避難者に寄り添い、避難者からの相談に対応するなど、女性ならではのきめ細やかな配慮で避難者の心の支えとなる活動を行った。</p> <p>いつ二次災害に遭うかもしれない危険を顧みず、住民の安全確保のため活動を行うとともに、避難所において被災者に寄り添い被災者を精神的にも支えるなど最大限の活動を行ったことで、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	くれししょうぼうだん 呉市消防団
所 在 地	広島県呉市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>かみせ まさはる</small> 上瀬 雅晴
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、団長及び副団長の指揮の下、昼夜を分かたず広範囲にわたる水防活動を実施し、また避難誘導を適切に行うことで、被害を最小限に止めた。特に安浦町の野呂川及び中畑川流域では、支流の氾濫による床上浸水等の被害が相次いで発生し、自力で避難できない方が多数発生したが、自らの家が被災した団員もいる中、不眠不休の活動により要支援者等約100名を救助した。</p> <p>さらに、降雨後は山林から流され河川の至る所に蓄積された土砂や流木及びゴミの処理等の災害処理を徹底的に行い二次災害の発生を防ぐなど、献身的な活動により被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	たけはらししょうぼうだん 竹 原 市 消 防 団
所 在 地	広島県竹原市
代 表 者 (団体での職名)	団長 いけだ かずお 池田 和夫
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、降雨当時積極的に気象情報を収集していた同消防団は、災害発生前に危険を察知し、河川等の警戒巡視を直ちに実施して災害発生のおそれのある箇所を確認するとともに、災害危険地区住民への避難誘導、災害発生箇所における応急措置等の活動を行うことで、被害の軽減に繋がった。</p> <p>また救助要請や被害情報が伝達されると、消防団本部の的確な指示の下、道路障害物の除去や冠水による住宅被害を防止するための積み土嚢のほか、2次災害を防ぐためのシート張り、女性団員による避難所運営支援等、昼夜を問わず精力的に活動し、被害の軽減及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みはらししょうぼうだん 三 原 市 消 防 団
所 在 地	広島県三原市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>おかもと</small> 岡本 <small>しげる</small> 茂
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨において、三原市では浸水被害のみならず土砂災害が全域で発生し、山の崩土や道路崩落により多数の地区が孤立したが、同消防団は倒木などをチェーンソーにより伐採し、徒歩で孤立者の安否確認を行ったほか、浸水から逃げ遅れた要救助者をボートで救助する等、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p> <p>また救助活動が落ち着くと、自衛隊による給水活動の補助や更なる崩土に備えたシート張り、行方不明者の搜索活動、さらには個人宅の瓦礫撤去や土砂撤去等多岐にわたる活動を行い、二次災害の防止と早期復旧に努めた。</p> <p>団員自らが被災しているにも関わらず、地域のため住民のために精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	おのみちししょうぼうだん 尾 道 市 消 防 団
所 在 地	広島県尾道市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>はまい</small> 濱井 <small>ただあき</small> 忠昭
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、災害発生前に河川の警戒巡視を行い早期に住民の避難誘導を実施したほか、土砂崩れにより行方不明となった2世帯2名を発見する等、人的被害を最小限に食い止めた。</p> <p>また、市内全域にわたり家屋の浸水、土砂崩れ、河川の氾濫による低地への浸水、洗掘等による道路の遮断等、多大な被害が発生する中、災害発生箇所における積み土のう工法、シート張り工法、排水作業等の水防活動を実施し、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p> <p>さらに、平成30年8月18日から19日にかけては、広島県内後期消防相互応援協定に基づき、広島県安芸郡坂町へ出動し、二次災害を防止すべく土砂撤去等の活動を行うなど、域内に留まらず精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ふくやまししょうぼうだん 福 山 市 消 防 団
所 在 地	広島県尾道市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>のぶちか</small> 延近 <small>ゆきひろ</small> 敬弘
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、市内各地で土のう積み工法を行い河川の増水による浸水被害を軽減した他、決壊の恐れがある池の排水作業を行う等、被害の拡大防止に努めた。</p> <p>また浸水が発生した地域においては、避難困難な住民の避難誘導やボート等を使用した孤立住民の搬送を実施する等、住民の人的被害を最小限に食い止めた。</p> <p>発災当日から5日間にわたり延べ6,855人が出動し、豪雨が降り続く困難な状況下においても、昼夜を分かたず水防活動等を行い、地域住民の安心安全の確保に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ふちゅうししょうぼうだん 府 中 市 消 防 団
所 在 地	広島県府中市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>わたせ</small> 渡瀬 <small>みゆき</small> 美幸
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、避難情報の広報、河川等の警戒巡視、災害危険地区住民への避難誘導を実施した。</p> <p>また、広範囲かつ同時多発的に発生する被害に対して、危険を省みず道路障害物の除去、積み土嚢、シート張り工法を実施するなど、昼夜を問わず精力的に活動したほか、雨が治まってからも行方不明者の捜索や水路の土砂撤去等の活動に尽力する等、被害の拡大防止及び住民の不安軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みよししょうぼうだん 三 次 市 消 防 団
所 在 地	広島県三次市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>にした まさひろ</small> 西田 正博
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、災害発生前から積極的に気象情報を収集し、早期から河川等の警戒巡視を実施して災害発生のおそれのある箇所を確認するとともに、災害危険地区住民への避難誘導等を行った。</p> <p>避難情報や被害情報が伝達されると、災害箇所へ駆けつけ、道路障害物の除去や冠水による住宅被害を防止するための積み土嚢を実施したほか、降雨後も、報告された被災箇所や決壊の危険のあるため池の現地調査を行い、状況に応じて水防工法にあたる等、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p> <p>また7月28日から8月19日にかけては、広島県内広域消防相互応援協定に基づき、安芸郡坂町において行方不明者捜索や避難所支援などに従事する等、域内に留まらず精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>



## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	しょうばらししょうぼうだん 庄 原 市 消 防 団
所 在 地	広島県庄原市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>まきはら</small> 槇原 <small>やすひろ</small> 靖弘
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、市内全ての基準水位観測所で氾濫危険水位を超えるなど、いつ重大な災害が発生してもおかしくはない危機的状況の中、積み土嚢やポンプによるため池の排水等の水防活動、住民の避難誘導等に奔走し、住民の生命、財産の保持に多大な貢献を果たした。</p> <p>団員一丸となり、不眠不休で活動に従事したその功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	おおたけししょうぼうだん 大 竹 市 消 防 団
所 在 地	広島県大竹市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ひろい えいじ</small> 廣井 英治
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、災害発生前から積極的に気象情報を収集し、早期から河川等の警戒巡視を実施して災害発生のおそれのある箇所を確認するとともに、災害危険地区住民への避難誘導等を行った。</p> <p>家屋の浸水等被害情報が伝達されると、浸水家屋等へ駆けつけ、積み土嚢や可搬ポンプによる排水活動等を実施し、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p> <p>また市内における活動が収束した後は、安芸郡坂町においてシート張り工法や水路開削等の二次被害発生防止活動や避難所支援などに従事する等、域内に留まらず精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひがしひろしまししょうぼうだん 東 広 島 市 消 防 団
所 在 地	広島県東広島市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>つぼい こういち</small> 坪井 浩一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、7月6日の早朝から今後の大雨を危惧し、危険箇所等の調査・警戒や、河川の氾濫が危惧される箇所における土のう積みを行ったほか、雨が強くなった午後からは、行方不明者の捜索、孤立した住民のボートでの救出、高齢者の避難誘導等、延べ1,603名の団員が活動した。</p> <p>それ以降も、土砂の流入で埋もれてしまった水路の復旧作業、斜面崩落危険箇所へのブルーシート張り、行方不明者の捜索及び危険箇所の警戒等で、延べ850名の団員が二次災害防止活動を行い、さらには応援要請のあった安芸郡坂町の避難所へ計11名の女性団員を派遣し避難所運営の支援にあたった。</p> <p>団員自らも被災している中、被災者のために昼夜を問わず献身的に活動し、被害の拡大防止及び被災者の負担軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	はつかいちししょうぼうだん 廿日市市消防団
所 在 地	広島県廿日市市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>やままつ</small> 山松 <small>かずお</small> 和男
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、早期から積極的に情報収集を行い、河川等の災害発生のおそれがある箇所 の警戒巡視を実施し、災害危険地区の住民への避難の呼びかけ、土 嚢積み等の活動を行った。被害情報が入ると二次災害防止、河川 氾濫の警戒を実施するなど、昼夜を問わず精力的に活動した結果、 被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また安芸郡海田町からの応援要請に対し、7月21日から7月22日 の2日間で延べ41人が出動し、土嚢積みやシート張りといった二次 災害防止の応援活動に従事したほか、安芸郡坂町からの応援要請に 対し、8月11日から9月23日の間で計11日間で延べ33名の団員 を派遣し、避難所運営の支援を行う等、域内に留まらず精力的に活 動した功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	あきたかたししょうぼうだん 安芸高田市消防団
所 在 地	広島県安芸高田市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>いしがみ ひろし</small> 石神 博
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、7月5日から10日までの間に延べ1,583名が出動し、危険な状況の中、水防活動や避難誘導・救助を行い、酷暑の中で捜索活動も実施した。</p> <p>水防活動においては約2,400袋の土嚢積みを行い、浸水害や土砂崩れの被害を軽減したほか、ため池の崩壊箇所にも土嚢積みを行い、下流域の被害を防止した。また住民の避難誘導においては避難指示が出された280世帯586名に避難の呼びかけを行い、特に危険なところは戸別に呼びかけた結果、避難指示箇所での人的被害は無かった。</p> <p>他にも、広島県内広域消防相互応援協定に基づき、派遣依頼のあった安芸郡坂町へ4回計6日、延べ105名の団員を派遣し、土砂撤去やシート張り工、避難所の清掃などに従事するなど、域内に留まらず精力的に活動した功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	え た じ ま し し ょ う ぼ う だ ん 江 田 島 市 消 防 団
所 在 地	広 島 県 江 田 島 市
代 表 者 (団体での職名)	団 長    は た   ま さ ひ ろ 島   正 弘
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、10日間にわたり延べ1,276名が出動し、水防活動においては、7月6日18時ごろから浸水被害及び土砂災害等が市内全域で多発するなかで、各分団、土のう積工法や浸水地区の排水作業などの活動を行ったほか、住民の避難誘導や、崖崩れや浸水により逃げ遅れた住民を救命ボートなどを活用して救助する等、被害の拡大防止に多大な貢献をした。他にも、豪雨災害により市内全域に断水が発生したため、7月7日から10日間、猛暑の中、住民へ雑排水用水の給水活動を行う等、昼夜に渡り精力的に活動した功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ふちゅうちょうしょうぼうだん 府 中 町 消 防 団
所 在 地	広島県安芸郡府中町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>さるわたり けんじ</small> 猿渡 謙次
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、早期から消防本部の指示を受け被害の調査及び警戒を行うとともに、住民の安否確認や応急工作を行って被害の拡大防止に努めたほか、川土手の崩落が更に進み周辺地域へ浸水する可能性が大きくなってからは避難広報と避難誘導を消防団員が一致団結して実施し、住民の安全確保を図った。</p> <p>また河川氾濫時には、浸水した地区の逃げ遅れ者、孤立住民の救出を行い、1名が避難途中で軽傷を負った他は死傷者を発生させなかった。</p> <p>その他、近隣の町からの応援要請に対し、自地区における復旧作業や日々の仕事の傍ら、土砂撤去やシート張り工法等の支援を行う等、域内に留まらず精力的に活動し、被害の拡大防止に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	かいたちょうしょうぼうだん 海 田 町 消 防 団
所 在 地	広島県安芸郡海田町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>のぶはら ひろし</small> 信原 宏
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、災害発生直後より、土砂崩れにより流出した土砂の撤去による交通路の確保、土のう積み及びびがけ崩れ箇所へのシート張りによる二次災害防止、行方不明者の捜索等を行ったほか、7月28日から7月29日にかけての台風12号接近時には、豪雨災害により被災した箇所の二次災害防止活動、住民への避難誘導に当たることで、被害の拡大防止に貢献した。</p> <p>多くの団員が昼夜を問わず精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	くまのちょうしょうぼうだん 熊 野 町 消 防 団
所 在 地	広島県安芸郡熊野町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>だいおき</small> 臺 沖 <small>みさお</small> 操
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、7月6日から16日までの11日間にわたり、延べ352名が出動し、土嚢積み等の水防活動や、倒壊家屋からの住民の救助活動、行方不明者の捜索、避難誘導等を行った。</p> <p>中でも、12名の方が犠牲となった大原ハイツにおいては、土石流により団地外へ接続する道路が遮断され、孤立状態となった団地内に入り、団地内の安全な場所に住民を誘導し、安全を確保するとともに、避難路を開削し、孤立した住民を避難所まで誘導し、被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また、自衛隊・警察・消防の各機関と協力して行方不明者の捜索に当たり、炎天下の中、土砂等を懸命に除去しながら活動した結果、全ての行方不明者の発見に貢献した。</p> <p>多くの団員が長期間に渡り精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	さかちょうしょうぼうだん 坂 町 消 防 団
所 在 地	広島県安芸郡坂町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>くるま</small> <small>けんじ</small> 車 地 健 二
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、団長の指揮系統の元、住民への避難誘導・避難行動要支援者の避難介助を行ったほか、浸水地域において孤立した住民をゴムボートで救出する等、人的被害を最小限に食い止めた。</p> <p>また、降雨後には、小屋浦地区において警察・消防・自衛隊と協働し、行方不明者の捜索を行ったほか、町内道路・水路・河川に大量に堆積した土砂について撤去作業を行ったり、崩落危険箇所や土砂崩れ発生場所においてシート張り工法約40箇所を行う等、道路復旧、二次災害防止にも多大な貢献をした。</p> <p>上記のように、多くの団員が長期間に渡り精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	あきおおたちょうしょうぼうだん 安芸太田町消防団
所 在 地	広島県山県郡安芸太田町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>くりはら まこと</small> 栗原 真
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、降雨当初から積極的に気象情報を収集し、早期に河川等の警戒巡視を実施して災害発生のおそれのある箇所を確認するとともに、災害危険地区住民への避難誘導、避難援助等の活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また救助要請や被害情報が伝達された際には、危険を団結地連携のもと安全を確保しつつ、救助活動や道路障害物の除去、冠水による住宅被害を防止するための積土嚢等を実施した。</p> <p>各場所での団員の適切な対応により、人的被害が1件も起こらなかったその功績は、誠に顕著である。</p> <p>さらに豪雨が去った後も、被災地支援として大きな被害を受けた坂町へ5回にわたり団員を派遣し、重機等を使用して土砂を撤去する等、献身的な支援を行った。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	きたひろしまちょうしょうぼうだん 北 広 島 町 消 防 団
所 在 地	広島県山県郡北広島町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>はしもと</small> 橋本 <small>とらお</small> 寅夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、降雨当時から積極的に気象情報を収集し、早期から河川等の警戒巡視を実施して災害発生のおそれのある箇所を確認するとともに、災害危険地区住民への避難促進、浸水・冠水の危険性のある住宅や河川等への積み土嚢、排水作業等の活動を行った。</p> <p>また救助要請や被害情報が伝達された際には、危険を省みず救助活動や道路障害物の除去、崩落の危険性の高い急傾斜地へのシート張り等を実施し、住民の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>さらに豪雨が去った後も、被災地支援として大きな被害を受けた坂町へ団員を派遣し、猛暑の中、重機による道路啓開や水路開削、急傾斜地のシート張りや小学校敷地内の土砂撤去、避難所の運営支援等、献身的な支援を行った。</p> <p>多くの団員が昼夜を問わず精力的に活動したその功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	おおさきかみじまちょうしょうぼうだん 大崎上島町消防団
所 在 地	広島県豊田郡大崎上島町
代 表 者 (団体での職名)	団長 ひやま まもる 檜山 司
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月6日から7日にかけての集中豪雨は、町内全域にわたり、家屋の浸水、田畑への土砂流出、山崩れ、洗堀等による道路の遮断等、多大な被害をもたらした。当時、積極的に気象情報を収集していた大崎上島町消防団は、危険を察知し、河川等の警戒巡視を直ちに実施し、災害発生の恐れのある箇所を確認するとともに災害危険地区住民への避難誘導、災害発生箇所における応急措置等の活動を行った。</p> <p>救助要請や被害情報が伝達されると、大崎上島町消防団は危険を省みず救助活動や、道路障害物の除去、冠水による住宅被害を防止するための積み土嚢を実施するなど、昼夜を問わず精力的に活動し、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>その姿は、地域住民はもとより、常備消防関係者をはじめとする多くの消防防災関係者からも高く評価された。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	せらちょうしょうぼうだん 世 羅 町 消 防 団
所 在 地	広島県世羅郡世羅町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>かんだ まさし</small> 神田 正史
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月6日から7日にかけての集中豪雨は、町内全域にわたり、家屋への浸水、河川氾濫による田畑への土砂流出、土砂崩れ等、多大な被害をもたらした。当時、積極的に気象情報を収集していた世羅町と世羅町消防団は、危険を察知し、河川等の警戒巡視を直ちに実施し、災害発生の恐れのある箇所を確認するとともに災害危険地区住民への避難誘導、災害発生箇所における応急措置等の活動を行った。</p> <p>被害情報が伝達されると、流出した土砂の撤去、冠水による住宅被害を防止するための積み土嚢やポンプでの排水活動を実施するなど、昼夜を問わず精力的に活動し、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>その姿は、地域住民はもとより、常備消防関係者をはじめとする多くの消防防災関係者からも高く評価された。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	しゅうなんししょうぼうだん 周 南 市 消 防 団
所 在 地	山口県周南市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>かんもと やすまさ</small> 神本 康雅
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月6日、周南市大字小松原付近を自主的に警戒巡回していた周南市消防団員は、崩落発生との連絡を得、直ちに災害現場を確認したところ、土嚢構築が必要であると判断した分団長は、常備消防に連絡するとともに、同分団員30名を緊急招集した。迅速に災害現場参集した周南市消防団は常備消防と連携し、約230袋の土嚢を構築し、排水作業を実施した後、崩落危険が差し迫っている斜面2か所にシート張工法を施し、更なる災害発生可能地点を防除し、大きな成果を上げた。</p> <p>同7月7日、常備消防から周南市大字樋口への出動要請があり、同消防団員35名は、土石流が発生し複数の家屋が倒壊した直後の災害現場に出動し、常備消防、山口県警察機動隊及び中国管区機動隊と連携し、自力避難が困難な住民を介添えし救出した。</p> <p>また、同消防団は、率先して、土砂に埋まっている住民の救出に重機が必要であると判断し、災害現場付近の建設会社に重機2台を要請し、重機の操作資格を持つ団員2名が重機を操作し人命救助作業を実施し、土砂に埋まっていた行方不明者1名を救出した。</p> <p>これらの活動により被災地区の全住民を救出した同団員の活躍は、地域住民に強い信頼と安心を与え、地域の消防活動に多大な貢献をし、同消防団の功績は誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	まつやまししょうぼうだん 松山市消防団
所 在 地	愛媛県松山市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>おおにし こうじ</small> 大西 浩司
功 績 の 概 要	<p>本市消防団は、平成30年7月豪雨に際し、7月6日から24日までの間、延べ2,633名が災害対応や復旧活動等を行い、被害を最小限に食い止めた。消防団による人命救助活動や行方不明者の捜索により人的被害を最小限に食い止めたほか、浸水箇所での排水作業、土のうの設置、土砂の撤去等により物的被害を軽減し、被害の軽減に多大なる貢献をした。</p> <p>避難所では女性分団員と大学生消防団員が支援活動にあたり、地域住民の安全・安心に繋がった。</p> <p>また、長期にわたる復旧・支援活動に際しては、被災した団員もいる中、消防団の任務を遂行し、地域の安全・安心を守るために尽力した功績は顕著である。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	うわじまししょうぼうだん 宇和島市消防団
所 在 地	愛媛県宇和島市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>いながき</small> 稲垣 <small>しょうじ</small> 聖治
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、甚大な被害を受けた吉田地区において、自衛隊、警察、常備消防等の防災機関と連携し、大規模な土石流、土砂崩れによる行方不明者の捜索、救助活動を発災から昼夜分かたず3日間行った。</p> <p>また、三間地区の土砂崩れにより倒壊した家屋の中で、家具と冷蔵庫の下敷きとなった要救助者を消防庁からの貸与資機材（コンビツールやチェンソー等）を活用し2名を救助した。</p> <p>その後、地域住民の生活を取り戻すため、発災から42日間にわたり、道路や水路内の土砂、がれきの撤去、運搬を行い、延べ8,667名の団員が出動した。</p> <p>また、豪雨による出水に際し、迅速に土のう積み等の水防活動を行い、被害の拡大を防止したほか、豪雨災害後の台風接近や大雨に際し、二次被害を防ぐため、危険箇所の巡回や地域住民の避難誘導に継続的にあたるなど被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁 ・ 国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	おおずししょうぼうだん 大洲市消防団
所 在 地	愛媛県大洲市
代 表 者 (団体での職名)	団長 やの まさかず 矢野 正祥
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成30年7月豪雨に際し、11日間延べ3,335名が出動し、降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、孤立住民の救助活動などを行い、平素の防災意識の高揚とあいまって被害の軽減に多大な貢献をした。市内11箇所に配備している救難ボートで、浸水し孤立した住民を安全な場所へ無事避難誘導した。</p> <p>また、市内54か所の樋門等の操作に従事し、被害の拡大を防止したほか、豪雨による出水に際し、月の輪工土等の水防活動を行うなど被害の軽減に努めた。</p> <p>他にも救援物資の受入れに伴い、運搬、整理等に従事し、スムーズに被災者に物資を配布することができた。管轄分団・部の住民の安否確認を行い、関係機関相互との情報の共有ができた。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁 ・ 国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	せいよししょうぼうだん 西予市消防団
所 在 地	愛媛県西予市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ひろせ</small> 廣瀬 <small>よしたか</small> 吉孝
功 績 の 概 要	<p>市内各所で土砂災害や水災害等が頻発している中、それぞれの分団が7月6日から7日にかけて対応した。2,000袋以上の土のう積み等の水防活動、倒木等の撤去作業により被害の拡大を防止した。</p> <p>明間地区では、土砂崩れの予兆を感じた消防団員が避難を呼びかけ、人的被害を発生させなかった。当地区は崩土による道路寸断のため集落が孤立したが、電話が不通となった世帯の安否確認、避難所運営などにもあたり、道路開通後も二次災害を防ぐための土砂撤去作業、支援物資搬入、盗難被害を防ぐための巡視など、多岐にわたる活動により、住民の安心安全確保に努めた。</p> <p>野村地区では肱川氾濫により約570棟が浸水し、5名が命を落とす被害となったが、ダム放流による浸水が予想された7日早朝、消防団員による車両での避難呼び掛けと、約910軒の戸別訪問を実施。避難を渋る住民の説得や、避難が困難な住民背負いやポンプ車で避難所まで搬送するなど、浸水直前まで避難誘導、避難介助にあたった。当時は雨が強く、防災行政無線での放送が聞こえなかったとの声もあることから、団員による戸別訪問がなければ、さらに被害者は増えたと予想される。</p> <p>このように自らの危険を省みず活動にあたり、被害軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ふくちやまししょうぼうだん 福知山市消防団
所 在 地	京都府福知山市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>いげざわ とおる</small> 池澤 徹
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から7日にかけて、延べ1,681名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	まいづるししょうぼうだんちょうれんらくきょうぎかい 舞鶴市消防団長連絡協議会
所 在 地	京都府舞鶴市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>せの</small> 瀬野 <small>かずみ</small> 和美
功 績 の 概 要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月4日から10日にかけて、延べ726名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	みまさかししょうぼうだん 美作市消防団
所 在 地	岡山県美作市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ながい しゅういち</small> 永井 秀一
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から7日にかけて、延べ2,009名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民8名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ぐじょうししょうぼうだん 郡上市消防団
所 在 地	岐阜県郡上市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>やまだ さとる</small> 山田 悟
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、平成30年6月29日から7月15日にかけて、延べ3,530名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ぎふしすいぼうきょうかい 岐阜市水防協会
所 在 地	岐阜県岐阜市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>と も と</small> 戸本 <small>と し お</small> 敏夫
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から9日にかけて、延べ2,020名が月の輪工、シート張り工及び釜段工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、陸閘閉鎖を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	かめおかししょうぼうだん 亀岡市消防団
所 在 地	京都府亀岡市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>なかい かずひさ</small> 中井 和寿
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から8日にかけて、延べ1,062名が土のう積み工、シート張り工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	とっとりししょうぼうだん 鳥取市消防団
所 在 地	鳥取県鳥取市
代 表 者 (団体での職名)	団長 さがら まさと 相良 正人
功 績 の 概 要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から8日にかけて、延べ1,423名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ひだししょうぼうだん 飛驒市消防団
所 在 地	岐阜県飛驒市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>かば よしひろ</small> 蒲 義博
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月5日から8日にかけて、延べ1,336名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	うちこちょうしょうぼうだん 内子町消防団
所 在 地	愛媛県喜多郡内子町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>しのざき</small> 篠崎 <small>こうたろう</small> 耕太郎
功 績 の 概 要	平成30年7月豪雨に際し、平成30年7月6日から7日にかけて、延べ1,046名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	防 衛 省
ふ り が な 名 称	ちゅうぶほうめんたいさいがいはけんぶたいおよびどうきょうどうぶたいどうしえんぶたい 中部方面隊災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊
所 在 地	兵庫県伊丹市 伊丹駐屯地
代 表 者 (団体での職名)	中部方面総監 陸将 <small>のざわ しん</small> 野澤 真
功 績 の 概 要	<p>同災害派遣部隊等の災害派遣は、平成30年7月6日、京都府知事からの災害派遣要請を皮切りに、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県及び高知県の各知事から災害派遣要請を受け、同年8月18日、岡山県知事からの災害派遣撤収要請までの間、44日間継続して活動した。</p> <p>この間、全国の陸上自衛隊の部隊が運用され中部方面隊の能力を補完するとともに、海上自衛隊及び航空自衛隊の部隊と協同し、猛暑下で長期にわたる人命救助、行方不明者の捜索、入浴・給食支援、物資輸送、道路啓開、がれき撤去等の災害派遣活動を継続した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	ほっかいどうけいさつほんぶ 北海道警察本部
所 在 地	北海道札幌市中央区
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>やまぎし なおひと</small> 山岸 直人
功 績 の 概 要	<p>北海道警察は、平成30年9月6日午前3時7分頃、北海道胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7、最大震度7を記録する地震の発生に際し、本部長を長とする災害警備本部（本部長以下約8,200人体制）を設置して機動隊、各署員等を人的被害の発生した現場に迅速に派遣し、情報収集や住民の避難誘導、捜索活動等を実施するとともに、自衛隊・消防等の関係機関と連携した効果的な救出救助活動により倒壊家屋等から5人を救助し、人的被害の拡大を防止した。</p> <p>また生活安全隊女性部隊による避難所での被災者への声掛け・防犯指導・相談対応等、特別自動車警ら部隊による被災地周辺での警戒活動、特別交通部隊によるブラックアウトに係る交通整理のほか、現場広報班による救出救助現場での取材対応や報道機関への映像提供等の実施、災害警備本部における記者レクチャーや道民へのメッセージ等によりタイムリーな情報を発信するなど、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	いぶりとうぶしょうぼうくみあいあつましょうぼうだん 胆 振 東 部 消 防 組 合 厚 真 消 防 団
所 在 地	北海道勇払郡厚真町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>いがらし つぎお</small> 五十嵐 次男
功 績 の 概 要	<p>厚真消防団は、平成30年9月6日午前3時07分北海道胆振東部中東部を震源とするM6.7、震度7の地震に際し、5日間にわたり延べ305人の消防団員が出動し、余震頻発、土砂崩れ、道路の寸断、停電、電話不通、断水が続く極めて困難の中、町民の安否確認、倒壊家屋からの行方不明者捜索、避難誘導、被害状況の確認作業等を実施し、平素の防災意識の高揚活動とあいまって、被害軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	いぶりとうぶしょうぼうくみあいむかわしょうぼうだん 胆 振 東 部 消 防 組 合 鷓 川 消 防 団
所 在 地	北海道勇払郡むかわ町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>まえだ つぐお</small> 前田 嗣夫
功 績 の 概 要	<p>鷓川消防団は、平成30年9月6日未明に発生した胆振東部地震に於いて、発災直後に消防団員が各々の使命に基づき参集し、火災警戒及び建物、道路、危険物漏洩等の被害調査等を実施した。</p> <p>インフラの麻痺に伴い、通信手段が消防無線または一部かろうじて使用できた携帯電話でのやりとりであったため、消防団員が実施する消防車両での警戒活動は、被災者との唯一の通信手段であった。</p> <p>警戒活動中に、倒壊家屋での要救助者情報をいち早く聞きつけ対応したほか、ホームタンクの転倒による危険物漏洩や流出に対し拡散防止対策を行い、被害の軽減に務めた。</p> <p>また防犯対策を兼ねた火災警戒活動を夜間に実施する等、余震が続く極めて困難な状況の中、26日間で延べ人数668名の消防団員が昼夜を問わず警戒に当たり、安心、安全に対する町民の負託に応えた尽力は大きい。</p>



## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	いぶりとうぶしょうぼうくみあいほべつしょうぼうだん 胆 振 東 部 消 防 組 合 穂 別 消 防 団
所 在 地	北海道勇払郡むかわ町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>きよかわ</small> 清川 <small>さとし</small> 三十四
功 績 の 概 要	<p>穂別消防団は、平成30年9月6日未明に発生した胆振東部地震に於いて、6日間にわたり延べ計126名の消防団員が出動し、停電・断水及び余震という極めて困難な状況の下、ホームタンクの転倒による危険物漏洩や流出に対し拡散防止対策やガス漏れに対する対応、住民の避難誘導や安否不明者の所在確認等、昼夜を問わず火災等警戒巡視活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくりつけんきゅうかいはつほうじんけんちくけんきゅうじょきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	茨城県つくば市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>つちもと たかひろ</small> 榎本 敬大
功 績 の 概 要	<p>建築研究所の緊急災害対策派遣隊は、建築物を中心とした被害状況を把握し必要な対策等に活かすため、国土技術政策総合研究所と合同で高度な知見を有する専門家を派遣し、木造建築物、鉄筋コンクリート造等建築物、地盤について調査を実施した。</p> <p>現地調査を受けて、平成30年北海道胆振東部地震の特性や倒壊・大きな変形を生じた建築物の特徴などを取りまとめた調査報告を迅速に公表したほか、むかわ町役場庁舎の被災箇所について、安全対策に係る助言をするなど、自治体における早期の復旧・復興に関する計画策定や対策工法の検討に資する技術的支援を実施するなど地域の防災力向上や迅速な復興に大きく貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくりつけんきゅうかいはつほうじんかいじょう・こうわん・こうくうぎじゅつけんきゅうじょこう わんくうこうぎじゅつけんきゅうじょきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技 術研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	神奈川県横須賀市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>くりやま よしあき</small> 栗山 善昭
功 績 の 概 要	<p>国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾 空港技術研究所の緊急災害対策派遣隊は、地震発生翌日の 平成30年9月7日早朝に苫小牧港へ派遣された。</p> <p>これは、1995年兵庫県南部地震の際の神戸港の液状 化被害をはじめ、国内外での災害調査の経験を有し、大型 模型実験による被害メカニズムの解明や対策工法の開発な どの研究実績、復旧工事への助言を行ってきた豊富な経 験、知見を基に、苫小牧港の港湾施設の点検・被災調査、 被災施設の復旧等に関する高度な技術指導を実施したも のである。</p> <p>特に、液状化による広域の噴砂・陥没・沈下・隆起メカ ニズムを明らかにすると共に、同調査結果に基づき今後の 復旧対策・管理指針を速やかに提示した功績は大きい。</p> <p>従って、その活動は、苫小牧港国際コンテナターミナル の早期復旧に大きく貢献できたものであり、その功績は顕 著であると認められる</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	防 衛 省
ふ り が な 名 称	だいななしだんさいがいほけんぶたいおよびどうきょうどうぶたい・どうしえんぶたい 第7師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊
所 在 地	北海道千歳市 東千歳駐屯地
代 表 者 (団体での職名)	第7師団長 陸将 <small>まえだ</small> 前田 <small>ただお</small> 忠男
功 績 の 概 要	<p>同災害派遣部隊等の災害派遣は、平成30年9月6日、北海道胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7の地震発生後、速やかに情報収集部隊及び初動対処部隊（FAST-FORCE）を派遣、同日6時00分、北海道知事から人命救助等のための災害派遣要請を受け、同年10月14日、北海道知事からの災害派遣撤収要請までの間、39日間継続して活動した。</p> <p>この間、東北方面隊、東部方面隊等の施設科部隊、航空科部隊等が運用され北部方面隊の能力を補完するとともに、大湊地方隊、航空総隊、航空支援集団等の部隊と協同し、余震等による二次被害の危険のある中、長期にわたる人命救助、行方不明者の捜索、入浴・給食支援、物資輸送、道路啓開、がれき撤去等の災害派遣活動を継続した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくどうつうしょうきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国土交通省緊急災害対策派遣隊
所 在 地	東京都千代田区霞が関
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>じんぐう</small> 神宮 <small>しょうじ</small> 祥司
功 績 の 概 要	<p>平成30年7月豪雨に際し、自治体所管施設の被災状況調査を実施し、激甚災害指定の見込み公表の早期化に貢献するとともに、通行止め箇所の道路啓開や応急復旧、浸水解消に向けた排水作業、流出土砂等の撤去など全力で地方公共団体への支援を実施した。</p> <p>また、北海道胆振東部地震に際し、自治体所管施設の被災状況調査を実施し、激甚災害指定の見込み公表の早期化に貢献するとともに、厚真川の河道閉塞箇所の緊急土砂撤去や土砂災害危険箇所の緊急点検、道路陥没や土砂崩落等によって通行不能となった道路啓開や応急復旧、被災建物の応急危険度判定など、全力で被災自治体を支援した。</p> <p>国土交通省緊急災害対策派遣隊は、自治体所管施設の被害状況調査等を実施し、その活動は、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることとなり、その功績は顕著と認められる。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくりつけんきゅうかいはつほうじんどぼくけんきゅうじょきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	茨城県つくば市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>いしい やすお</small> 石井 靖雄
功 績 の 概 要	<p>国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊は、平成30年7月豪雨、同年北海道胆振東部地震に対応するために、発災直後から専門家を派遣し、土砂崩れの発生源調査および二次災害防止に係る高度な技術指導を実施した。その活動は、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることにつながった。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	のぼりべつしれんごうちょうないかい 登別市連合町内会
所 在 地	北海道登別市
代 表 者 (団体での職名)	なかがわ しんいち 中川 信市
功 績 の 概 要	<p>平成24年11月27日～30日に発生した大規模停電の教訓を踏まえて「市連合町内会緊急災害時の初期行動マニュアル」を策定、協働のまちづくりの観点から行政との災害時における役割を明確にし、発災時には市連合町内会及び各地区連合町内会に災害対策本部を設置するよう体制を整備した。</p> <p>特に、緊急災害時情報伝達網を整備したほか、登別市が町内会へ災害に関する情報を伝達する際にも、登別市連合町内会事務局長に情報を伝達するだけで迅速かつ確実に各町内会まで情報が伝達することが可能となる体制を構築、各町内会からも同ルートで被災状況の収集が行えることから、市の情報収集・伝達の一翼を担うことにより負担軽減に大きく貢献している。</p> <p>緊急災害時情報伝達網は災害時の避難に関する情報の伝達のほか、クマ出没時等の緊急を要する事案の情報伝達にも活用されている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	もとまちしもちょうちょうないかいじしゅぼうさいそしき 本町下丁町内会自主防災組織
所 在 地	秋田県横手市本町
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>なめかわ としお</small> 滑川 利生
功 績 の 概 要	<p>同自主防災組織は、平成9年に発足し、地域一体となった防災活動に取り組んでおり、公共機関・団体、民間組織等と合同で行う総合防災訓練をはじめ、組織主催の救命講習、地域のイベント等と併せた防災訓練等、個々の知識の習得、意識の高揚に努め地域コミュニティを深化させることにより、有事に備えた防災共助組織の醸成と体制づくりを行っている。大規模災害を想定した総合防災訓練では、公共機関、民間企業等の協力により、「自助」、「共助」、「公助」とはどのようなものかを再確認し、地域においては「互助（向こう三軒両隣）」を重視し、「互助」がたくさん集まることで「共助」に繋げる防災体制の整備に取り組んでいる。</p> <p>また、平成29年7月に発生した大雨災害時には、地域内の独居老人宅を訪問し、安否確認を実施するなど、平素の防災意識高揚活動とあいまって、被害の軽減と地域防災力向上に寄与している。</p>



功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	ながれやましとうぶちくじちかいはれんごうきょうぎかい 流山市東部地区自治会連合協議会
所 在 地	千葉県流山市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>わたなべ やすひで</small> 渡邊 恭秀
功 績 の 概 要	<p>平成17年に流山市の東部地区に位置する24自治会が連携し、同協議会を設立。自治会の枠を超えて地域の防災力向上のための活動を継続して行っており、地域コミュニティの維持・活性化を図っている。</p> <p>毎年行っている防災訓練は、地域住民と中学校の生徒が一体となって参加することや、さらに地元の企業も加わり大規模な合同防災訓練を実施し、中学生に対する防災教育や普及啓発活動を行うとともに、地域コミュニティの維持・活性化を図る等により、地域の防災力を高め、災害に強いまちづくりを行っている。</p> <p>小学校区別に避難所運営マニュアルを作成し、年間2回の定期的な運営委員会を開催していること。同協議会と中学生が連携し、合同で地区防災マップを作成している。</p> <p>また、小学校区別に地域の特性等を検証し、その特性等に応じた「東部地区防災計画」を作成することで地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献している。</p> <p>地元の企業と「災害に強いまちづくり応援協定書」を結び、大規模災害（風水害、地震、竜巻災害等）が発生した場合、応援を要請することが出来るものとし、企業は平時より人命救助の実践的訓練を行い、要請又は自主的判断により防災活動を行うものとしている。</p>

## 功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	とっとりしわかばだいまみなみろくちょうめじしゅぼうさいかい 鳥取市若葉台南六丁目自主防災会
所 在 地	鳥取県鳥取市若葉台南六丁目
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>やまだ よしのり</small> 山田 義則
功 績 の 概 要	<p>本地区は平成元年に入居を開始した新興住宅地であり、平日の昼間は勤めとの関係で成年男性が地区内に不在となることから、住民が話し合ってシルバー消防隊を結成。その後、成年男性を中心とするレスキュー隊を結成し、継続した活動を行っており、24時間365日災害に対応できる防災体制を構築している。</p> <p>また、地区内の老人福祉施設との合同訓練、小学校での防災訓練の指導・助言、町内会の行事と防災活動をセットにすることで、地域住民が一体となった防災活動の実施など、地域での防災活動の普及、啓発に尽力し、平成28年12日には、本地区で入居が始まって以来の「火災ゼロ」10,000日を達成した。</p> <p>更に、災害時要援護者対策に積極的に取り組み、防災訓練での要支援者の搬送訓練の実施や、訓練をふまえた支援方法の見直し等により要支援者の個別支援方法を確立。支援者と要支援者相互の信頼関係も構築し、平成29年2月の大雪では、要支援者の安否確認や自宅周辺の除雪を行うなどの活動に繋がった。</p> <p>以上のように、他の自主防災組織の模範として、地域防災力の向上及び地域の防災体制の整備に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みやぎのくふくずみまちちょうないかい 宮 城 野 区 福 住 町 町 内 会
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区
代 表 者 (団体での職名)	町内会長 <small>すがわら やすお</small> 菅原 康雄
功 績 の 概 要	<p>同会は平成15年に活動を開始したが、当初漠然とした町内会員数しか把握しておらず、どこに誰が住んでいるのかも不明な中、防災マニュアル作成の前段として町内名簿の作成に着手し、2ヶ月間で約1,000名の名簿を作成した。名簿は毎年更新し、これを活用することで災害弱者となる方々のサポート・見守り体制を確立している。</p> <p>また年1回、全員参加型の防火・防災訓練を実施しているが、毎年工夫を重ね、住民だけでなく消防団立ち会いの上での本格的な消防訓練や、崩れた家屋から人命を助ける救助犬の活動、実際に小屋を焼いての消火訓練、免震の実験など多岐にわたっている。</p> <p>さらに、大震災を想定して、災害時相互協力協定の必要性を鑑み、官民どこよりも早く他者に働きかける（現在、災害時相互協力協定を14の自治会等と締結している。）など、他地域の模範となる取り組みで防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ねしんでんちょうないかい 根 新 田 町 内 会
所 在 地	茨城県常総市
代 表 者 (団体での職名)	自治区長 <small>かとう いわお</small> 加藤 岩雄
功 績 の 概 要	<p>同会は平成26年8月に地域コミュニティサイト「わがまちねしんでん」を開設、同年10月には自治会レベルでは全国初の「SMS一斉送信システム」を導入した。平成27年9月に発生した関東・東北豪雨において、当地域は甚大な被害を受けたが、町内会の95%の世帯が登録しているこの「SMS一斉送信システム」を活用して、町民の情報共有手段として大きな効果を発揮した。</p> <p>豪雨災害後は、マイタイムラインの推進や防災用ライブカメラの設置など水防災の新たな取り組みや、初動対応として重要かつ先進的な安否確認システムの構築、「自主防災基本計画（地区防災計画）」の策定など、住民の安全安心の高まりがみられる。</p> <p>また先進地区として、全国の自治会との情報交換や講演の場を活用し、SMS一斉送信システムやマイタイムラインの普及啓発にも力を入れており、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	せや ぼうさいねっとわーく Seya 防災ネットワーク
所 在 地	神奈川県横浜市瀬谷区
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>おくだ たかお</small> 奥田 貴生
功 績 の 概 要	<p>平成24年4月、社会福祉施設やNPO団体等が集まりSeya防災ネットワークがスタート。春・秋期防災研修会や防災講演会などを毎年開催しているほか、事業所で行うブライント型消防訓練を同業種の事業所に公開し、終了後に実施者と見学者で意見交換会を行うことで実践的かつ効果的な訓練を模索することを提言している。</p> <p>また分科会でも、「減災行動ワークショップ」、「災害時要援護者理解講座」、「外国籍住民等の減災対策」等について活動するなど幅広く取り組んでおり、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	あなんしりつつのみねしょうがっこう 阿南市立津乃峰小学校
所 在 地	徳島県阿南市津乃峰町
代 表 者 (団体での職名)	校長 <small>たきがわ ひろのぶ</small> 多喜川 広伸
功 績 の 概 要	<p>津乃峰小学校では、教育活動を通じて子どもたちが防災の知識や実践力を身につけるとともに、学校・家庭・地域の協働による防災に触れる機会創出に努め、地域や地域防災に取り組む人々を知りながら、地域一体での防災活動に率先して取り組んでいる。</p> <p>例えば全教育活動に防災の視点を取り入れた教育年間計画「防災クロスカリキュラム」を作成し、各学年「防災を見つめる力」「防災を考える力」「防災にかかわる力」の視点で目標設定し、系統的・計画的に学びを深め、総合的な「防災の学力」が身につくよう学習を進めている。</p> <p>ほかにも身近なものによる防災グッズづくりや被災地への募金活動、年2回実施の親子避難所体験活動など多様な活動を行い、その内容を校内放送や「チャレンジ新聞」などで伝える広報活動も行っている。</p> <p>また、保育所への出前授業を通じて自分たちが学んだ防災の内容を啓発するなど、翌年1年生になる園児との交流を図り、地域の防災力の向上に貢献している。</p> <p>以上のように「みんなで助かる津乃峰」を合い言葉に、自分たちの命だけでなく、家族や地域全体の命を守ろうとする意識と行動力を育てながら、地域の防災に貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	くまこうげんちょうようしょうねんじょせいぼうかい 久万高原町幼少年女性防火委員会
所 在 地	愛媛県上浮穴郡久万高原町
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>たかの みつぐ</small> 高野 貢
功 績 の 概 要	<p>幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブが地域住民の防火思想の高揚を図り家族を中心とした地域社会全般にわたる防火体制の一層の充実を図ることを目的に確立した委員会である。当地域は過疎と高齢化が著しく進む町で、高齢化率は47.2%であり隣近所が助け合って災害に強い町を目指している。過去の災害を見ても平成13年に発生した「芸予地震」で震度5強を記録するも怪我人の発生はなかった。この地震を契機に、「自分たちの地域は自分たちで守る」の思いが改めて強くなり、幼年・少年消防クラブと女性防火クラブがタイアップして地域を取り込んだ活動は地域防災に多大なる貢献をしている。高齢者宅を訪問して火災予防の呼びかけとプレゼントを渡す「愛の一声運動」や地域をあげて行う「地域防災訓練」を毎年実施している。また、地域で「防災キャンプ」にも取り組み、水難救助体験や防災食炊飯、避難所段ボール寝床作りなど楽しく体験する防災を実施している。</p> <p>上記の様な取り組みを30年以上継続しており、幼少期にこの取り組みを経験した子供たちの中で、防災人として地元に残り活躍している者もいる。少子高齢化に悩む山間地の防災のあり方の手本を示す素晴らしい取り組みである。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	きたきゅうしゅうしわかまつしょうぼうだんじょせいしょうぼうだんいん 北九州市若松消防団 女性消防団員「カップ・ファイヤーズ」
所 在 地	福岡県北九州市若松区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>たかもり</small> 高森 <small>みつお</small> 光男
功 績 の 概 要	<p>昭和63年10月1日、若松女性消防団員第一期生を採用し、女性消防団員も充実してきた頃より、何か女性消防団員の特性を活かして火災予防に貢献できることはないかと検討していた。平成3年に女性消防団員が、若松区の防災講座で演じた「防火劇（水戸黄門）」が大好評であったため、継続的に防火劇を実施することとなった。平成4年には若松女性消防団員も14名となり、防火劇による火災予防広報をより広くアピールすべく防火劇団名を、北九州市若松区に民話として伝わる河童伝説にちなみ「カップ・ファイヤーズ」と命名し、同年6月に、福祉施設防火デーの主行事として実施した、「若松カチカチ山物語」で劇団としてスタートした。</p> <p>現在は年間3～5回の公演を継続し、若松区民のみならず他都市でも公演実績もあり、今日までの総公演数は100回を超えている。</p> <p>また、観劇した市民団体やまちづくり団体から好評を得ており、対応が困難になるほどのリクエストが寄せられ、防火・防災に関する広報手段として大きな力となっている。平成7年からは、九州はもとより全国で、防火・防災劇を披露するまでになるなど、地域のみならず広く防災意識の向上に大きく貢献している。</p>



功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	にしぎきにゅーたうんじちかいじしゅぼうさいかい 西崎ニュータウン自治会自主防災会
所 在 地	沖縄県糸満市西崎
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>かわみつ しげお</small> 川満 茂雄
功 績 の 概 要	<p>「飽きさせず、継続できる防災訓練」をモットーに実施する訓練では、防災紙芝居、防災マジックショー、セラピー犬との触れ合いなど、親子で参加しやすい内容となるように工夫を凝らしている。また、避難訓練や避難所設置運営訓練、災害救助犬を活用した訓練や夜間避難訓練を行っている。</p> <p>地区に住む要配慮者に対しては、要配慮者支援名簿を整備し、避難に時間を要する車椅子や高齢の住民の緊急避難場所として、独自で民間アパートと津波避難場所に関する協定を締結している。</p> <p>また、これまでに多くの団体等からの視察見学や講演の依頼を受諾しており、防災の取り組みを内外へ普及啓発する活動を行っている。</p> <p>このような活動を継続してきた成果として、自主防災組織発足当時に確実に感じられた住民間の防災意識に対する温度差も少なくなり、今では「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が浸透し、飛躍的に防災意識が向上している。また、活動初期に子どもだった住民も今では大人になり、継続してきた防災意識が地域に根付いてきていることも大きな成果である。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	ふくしまかんきょうあんぜんせんたー 福島環境安全センター
所 在 地	福島県田村郡三春町深作
代 表 者 (団体での職名)	<small>みやはら かなめ</small> 宮原 要
功 績 の 概 要	<p>同センターは、前身組織であった事故直後から環境放射線のモニタリング技術の開発を行うとともに、継続的に福島県内を中心とした空間線量率やセシウムの沈着量の分布状況とその時間変化を地図上にわかりやすく示したマップを作成してきた（環境放射線のモニタリング・マッピング）。これは、避難区域の設定・解除、除染区域の決定等の放射線防護対策を立案する際に唯一無二の基盤データとして活用され、被ばく線量抑制に貢献した。このモニタリングにより得られた情報に加え、帰還困難区域等で実施した観測により、事故で地表に沈着したセシウムが森林から溪流・河川、河口域へと移動・堆積する挙動を理解するとともに、それらを表現する数理モデルを構築、観測だけでは困難だった大雨時等様々な環境条件におけるセシウムの挙動を定量的に評価する手法を開発した（環境動態研究）。その結果、河川水系全体を俯瞰するセシウムの移動・蓄積の定量的評価を実現し、雨水・河川水移動に伴う二次的な汚染の可能性は極めて低いことを明らかにして、避難指示解除等の放射線防護対策の見直しに貢献した。</p> <p>これらは、自治体の復興計画策定の基盤情報や、住民の帰還や帰還後の住民の生活再建に必要な根拠情報として活用され、科学技術的な知見を提供し、福島復興に大きく貢献した。そこで、実測データの経時変化、セシウム移動・堆積挙動とその根拠、シミュレーション結果を分かりやすく提示する総合的な情報サイトを開設し、地域のニーズに応える情報発信を行った。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	なちかつうらちょうきょういくいいんかい 那智勝浦町教育委員会
所 在 地	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
代 表 者 (団体での職名)	教育長 <small>おかだ ひでひろ</small> 岡田 秀洋
功 績 の 概 要	<p>同委員会は、平成13年8月の台風11号による豪雨災害を教訓に、平成14年より町内の小学校1校を皮切りに防災学習を開始した。その後、平成17年以降は、有識者を講師とした町民向けの防災講習会を開始した。さらに、甚大な被害をもたらした平成23年の紀伊半島大水害後には防災教育の体制を強化し、町内の各小中学校で防災学習を実施するなど、同委員会が中心となり、内容の充実を図り、町内の防災教育を推進している。</p> <p>また、平成23年の紀伊半島大水害後、災害対応の貴重な経験や被災体験者の体験談等を取りまとめた記録誌、啓発映像（大人向け、子供向け）を順次制作し、町内で開催されるイベントで公開・上映し、防災学習などに毎年活用している。なお、和歌山県が設置した土砂災害啓発センターでは、これらの資料を活用し、地域住民や県内外の児童・生徒の防災学習、観光客への災害実態の普及啓発を行っている。</p> <p>このように、同委員会は外部有識者を講師とした防災講習会、児童・生徒・一般住民を対象とした防災学習会を積極的に開催し、地域の防災力向上に大きく貢献してきた。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	うえむらけんせつかぶしがいしゃ 植村建設株式会社
所 在 地	北海道赤平市
代 表 者 (団体での職名)	代表取締役社長 <small>うえむら まさと</small> 植村 正人
功 績 の 概 要	<p>同社は、平成20年度から防災活動を始め、平成21年度より継続的な市民防災体験会開催のほか、全社員が普通救命講習を修了し、20人の社員が防災士の資格を保有していることなど、自社の防災対応力の向上と地域に根ざした防災活動による地域住民の防災意識と地域防災力の向上に尽力し、防災思想の普及に多大な貢献をしている。</p> <p>また、市民防災体験会では地域の小中学校及び、高等学校の児童生徒参加による体験学習にも力を入れており、青少年への防災教育へも多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	さいがいきゅうえんぼらんていあすいしんいんかい ちばしえすえるねっとわーく 災害救援ボランティア推進委員会 千葉県SLネットワーク
所 在 地	千葉県千葉市稲毛区
代 表 者 (団体での職名)	代表 <small>ふかみ</small> 深味 <small>はじめ</small> 肇
功 績 の 概 要	<p>同団体は、平成16年新潟県中越地震・平成19年新潟県中越沖地震にボランティア団体として参加した以降も、平成23年東日本大震災時に様々なボランティア活動をしている。また、千葉市内の町内自治会や自主防災組織、避難所運営委員会等に講習会や防災教育、訓練指導を実施しており、防災思想の普及・防災体制の整備に大きな貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	みやましじょせいぼうかくらぶ みやま市女性防火倶楽部
所 在 地	福岡県みやま市
代 表 者 (団体での職名)	きたむら まゆみ 北村 眞弓
功 績 の 概 要	<p>みやま市女性防火倶楽部は、同市女性倶楽部会員で構成され、福岡県女性防火クラブに所属し、相互の連絡を密にして、女性防火倶楽部の健全な発展を図り、火災予防思想の普及と地域防災の推進に寄与している。同倶楽部は結成以来、家庭から火を出さないことを目的とし、講習会等で防災意識を向上させるなど、その活動は多岐にわたっている。</p> <p>また、近年では住宅用火災警報器の普及啓発のために市内の世帯を戸別訪問するなど、みやま市における防災及び防火に対する貢献が顕著である。</p>